

新ビジョンの検討状況と今後の予定

2021.9 ビジョン課

1 趣旨

現在、2050年の兵庫の未来を展望する新しい将来ビジョンの検討を進めている。

これまで、県全体の骨太な将来像を示す新全県ビジョンと、地域ごとの将来像と行動目標を示す9地域の新地域ビジョンについて、県民との意見交換を重ねながら検討を進めてきた。

全県、地域を合わせた新ビジョンの本年度内策定をめざし、引き続き県民の声を聴きながら、新全県ビジョン、新地域ビジョンそれぞれの最終案の取りまとめに向けて検討を進める。

2 検討状況

(1) 新全県ビジョン

①長期ビジョン審議会【2020～21年度】

- ・知事の諮問を受け、新全県ビジョンの策定に関する重要事項を審議（委員34名）

2020年 7月	知事の諮問を受け、新ビジョンの策定方針を審議
2021年 2月	将来構想試案の報告を受け、新全県ビジョンの方向性を審議 ※別途設置する委員会へ詳細検討を付託
10月（予定）	新全県ビジョン骨子案を審議
12月（予定）	新全県ビジョン本体案を審議
2022年 1月（予定）	新全県ビジョン案答申

②新ビジョン企画委員会【2021年度】

- ・長期ビジョン審議会のもと、新全県ビジョン案を作成（委員11名）

2021年 4月	新ビジョンのコンセプト、伝わるビジョンのあり方を討議
9月	新全県ビジョン骨子案を討議
11月（予定）	新全県ビジョン本体案を討議
12月（予定）	新全県ビジョン本体案、新ビジョン具体化の方策等を討議

③将来構想研究会【2019～20年度】

- ・人口動態、社会潮流など新ビジョンの策定に向けた基礎的研究を実施（委員9名）
- ・計14回の会議を経て、新全県ビジョン検討の素材となる将来構想試案を取りまとめ

(2) 新地域ビジョン

①新地域ビジョン検討委員会【2020～21年度】

- ・新地域ビジョンの策定主体として策定単位（9地域）毎に設置（各地域15名程度）
- ・現在、各地域で新地域ビジョン骨子案を検討中

②地域デザイン会議【2020年度】

- ・住民有志が討議を重ねて将来の地域デザインを描くワークショップを地域別に開催
- ・新地域ビジョンの検討の素材となる地域デザイン案を取りまとめ

(3) 県民との意見交換【2020～21年度】

①ビジョンを語る会

- ・地域の様々な団体や有志グループと地域の課題や将来像について車座形式で対話
- ・これまで計92回、約2,100人と意見交換を行い、意見集約結果からキーワードを抽出
- ・今後は、検討中の新ビジョン骨子案をもとにめざすべき地域像等について意見交換

②ビジョン出前講座

- ・若者がグループワーク形式で兵庫の未来を考える出前講座を高校、大学等で実施
 - ・これまで計16回、約1,800人と意見交換を行い、意見集約結果からキーワードを抽出
(2020年度) 出石高校、村岡高校、洲本実業高校、川西明峰高校
(2021年度) 三田祥雲館高校、篠山産業高校、兵庫高校、神戸大学農学部、
神戸大学大学院工学研究科、大阪市立大学商学部、神戸山手女子高校、
兵庫教育大学、灘高校、関西学院大学法学部・経済学部、
甲南大学経済学部、グッドホールディングス(株)

③地域未来フォーラム

- ・新ビジョンの方向性をテーマに地域別にワークショップや意見交換を実施
 - ・これまで7地域で約500人と意見交換を行い、意見集約結果からキーワードを抽出
 - ・今秋9地域で新ビジョン骨子案をもとに地域の未来を語り合うフォーラムを開催予定

④オンライン意見交換ツールの活用

- ・新ビジョン検討への参画の輪を広げるため、新たにオンライン意見交換ツールを導入
 - ・2021年3月 兵庫県新ビジョン検討プラットフォーム(兵庫県版Decidim)を開設
 - ・2021年3~8月 兵庫県版Decidimで将来構想試案について意見交換(登録者338人)

⑤個別の意見交換

- ・新地域ビジョン検討メンバーを対象としたグループインタビュー(4回/34人)
- ・地域のキーパーソンによる将来構想試案の6本柱ごとの意見交換(6回/41人)
- ・地域のキーパーソン、先進的な活動をしている事業者等へのインタビュー(45人)

(4) 県民意識調査 《各調査の結果要旨はp.4参照》

①県民意識調査「兵庫の未来を考える」【2020年11~12月】

- ・県民5,000人を対象としたアンケート調査(回答者3,041人 回答率60.8%)

②県民モニター調査「兵庫県将来構想試案への意見」【2021年4月】

- ・県民モニター2,190人を対象としたアンケート調査(回答者1,073人 回答率49.0%)

③県民モニター調査「今般のコロナ禍の影響と今後の展望」【2020年6月】

- ・県民モニター2,130人を対象としたアンケート調査(回答者1,250人 回答率58.7%)

(5) その他

①若手職員による意見交換会【2021年6~7月】

- ・「兵庫の未来を考える」をテーマに本県の若手職員による意見交換会を開催
(本庁5回計27人、県民局・県民センター11回計101人)

②新規採用職員からの意見募集【2021年4月】

- ・本県の2021年度新規採用職員を対象に将来構想試案に関する意見募集を実施
(324人中306人回答)

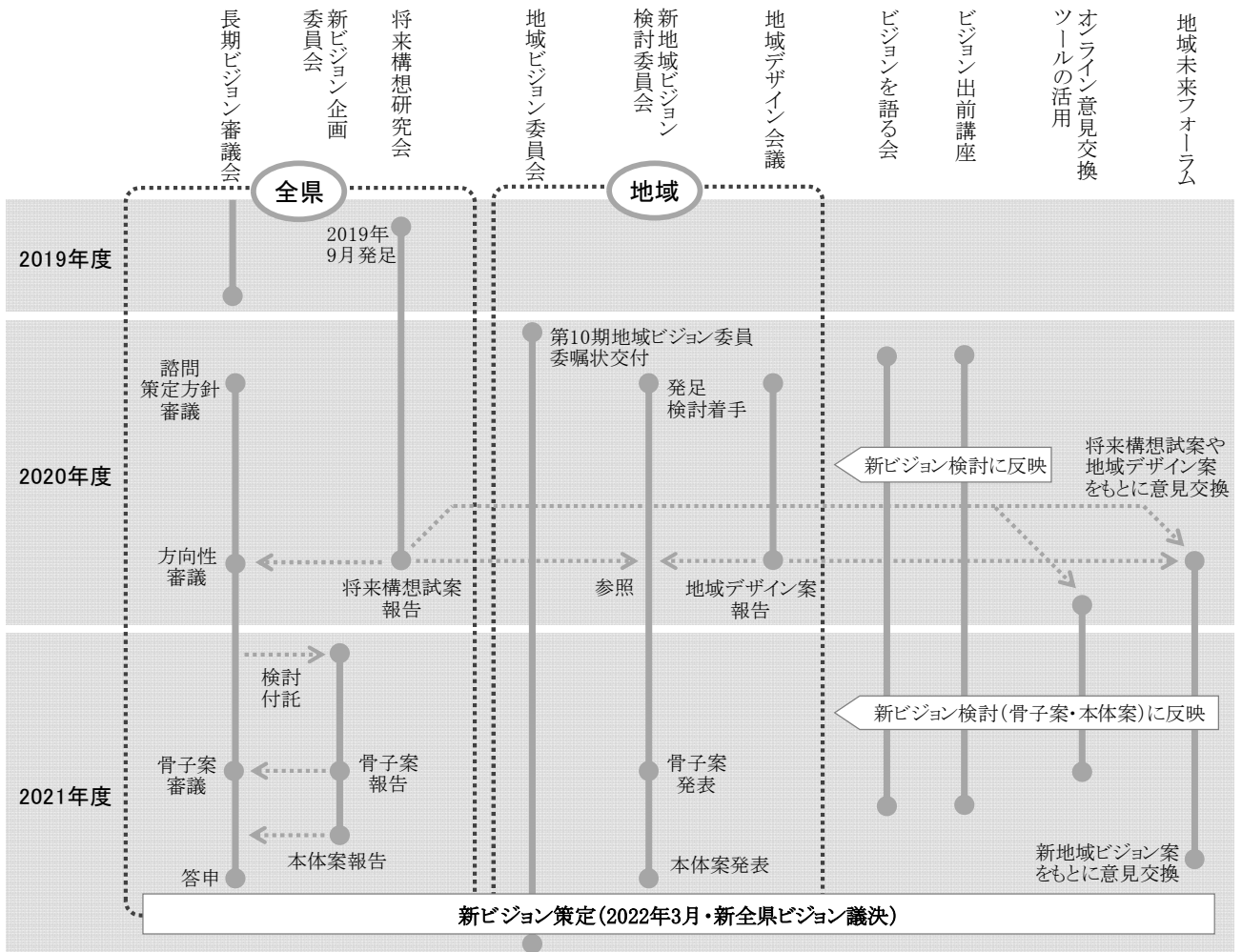
③県内市町の意見聴取

- ・全市町ヒアリング【2019年11月~2020年4月】
- ・将来構想試案についての意見照会【2021年4月】(5市町から計21件の意見)

④パブリック・コメント手続

- ・新ビジョン案(全県・地域)への県民意見を聴取【2021年12月~2022年1月予定】

3 全体スケジュール (大まかな流れ)



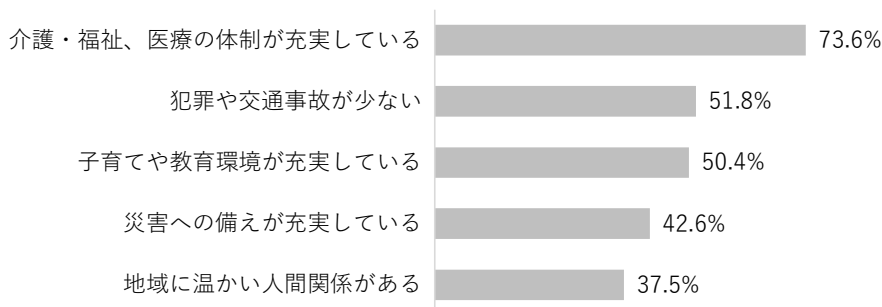
【補足】 県民意識調査の結果要旨

※以下の結果は回答者の年齢構成が高齢層に偏っている点、未成年が対象外である点に留意する必要がある。

① 県民意識調査「兵庫の未来を考える」(2020.11~12) 3,041名回答

期待する地域社会の将来像 ⇒ 「介護・福祉、医療の体制が充実している」が最多

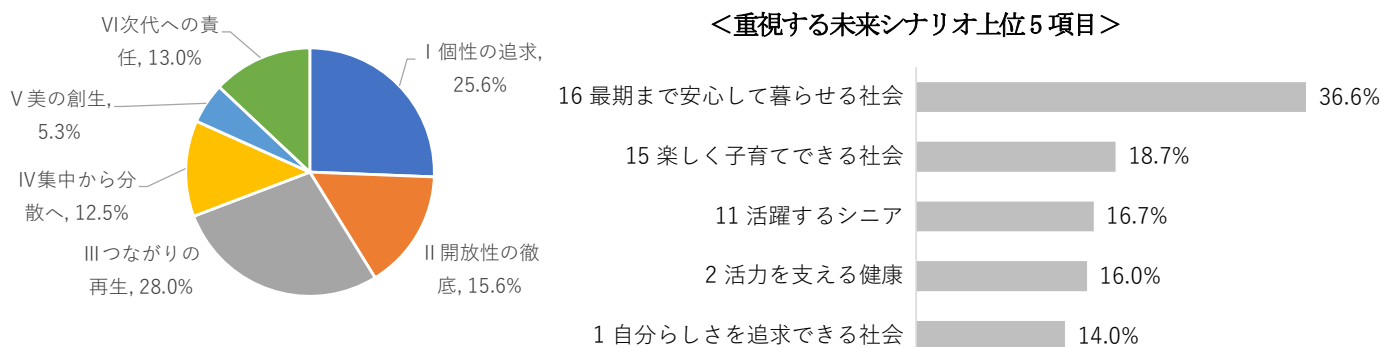
＜期待する地域社会の将来像上位5項目＞



② 県民モニター調査「兵庫県将来構想試案への意見」(2021.4) 1,073名回答

重視すべき未来シナリオ ⇒ 6本柱では「I個性の追求」「IIIつながりの再生」が拮抗

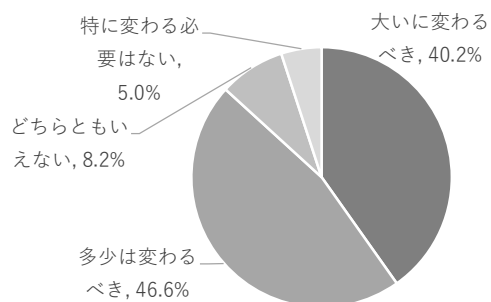
⇒ 個別では「16 最期まで安心して暮らせる社会」が最多



③ 県民モニター調査「今般のコロナ禍の影響と今後の展望」(2020.6) 1,250名回答

社会のあり方は変わるべきか

⇒ 「変わるべき」が約9割 (86.8%)



特に変わる必要があるものは何か

⇒ 「働き方」が最多 (40.2%の人が選択)

＜特に変わる必要があるもの上位5項目＞

